



枚方公済病院 認定看護師通信



6・7月号(2か月毎発行)VOL.31



活動報告

今月は慢性心不全看護
認定看護師

慢性心不全の治療の一つとして、心臓リハビリがあり継続していくことで再入院予防にも繋げることができます。多くの心不全患者が入院中に心臓リハビリを行いますが、退院後は通院が難しく外来リハビリが継続できない患者も多くいます。また、外来リハビリにも制限があり、当院を終了後の受け入れ先がなく継続できないなどの現状があります。

そこで、心臓リハビリ室では在宅に繋ぐために「心不全ホーム勉強会」の開催を企画しました。近隣の訪問看護師や在宅リハビリのスタッフと情報交換を行う中で連携を深めていきたいと考えています。

5/17に第4回の会が開催され、34名の参加がありました。

当院を退院し、デイサービスにてリハビリを継続している患者の報告があり、レインボーハンド帳による医療者の連携についても紹介されました。

次回は8月に予定しているため、興味のある方は是非参加してください！



事例紹介



受付

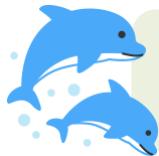


リハビリスタッフでお出迎え



意見交換

慢性心不全看護認定看護師 原谷 こずえ



認定看護師の豆知識

今月は感染管理
認定看護師

AMR対策 いきまーす！

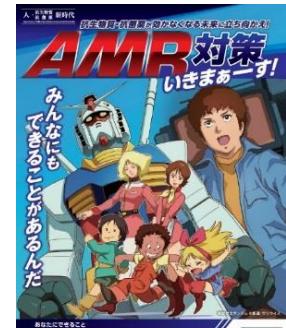
厚生労働省は、平成29年9月29日付で、**薬剤耐性(AMR; Antimicrobial Resistance)**対策の啓発のために、『機動戦士ガンダム』とコラボレーションし、ポスター・リーフレットを作成しました。

薬剤耐性(AMR)とは？

抗菌薬が効きにくくなる、または効かなくなることです。

抗菌薬が効きにくい菌を薬剤耐性菌と言います。耐性菌が増えると、抗菌薬が効かなくなることから、これまでに、感染、発症しても適切に治療すれば軽症で回復できた感染症が、治療が難しくなって重症化しやすくなり、さらには死亡に至る可能性が高まります。この薬剤耐性菌は世界中で増えています。今の増え方で、何も対策を行わないと、2050年には世界中で年間1000万人が死亡する（現在のがんによる死者を超える）と想定されています。もし、**世界のどこか1か国で耐性菌による**

感染症が流行した場合、人や物の交流を通じて世界に拡大するおそれがあります。薬剤耐性(AMR)の拡大を防ぐには、国際的な取組が必要です。我が国でも平成28年（2016年）4月に取りまとめた「薬剤耐性(AMR)対策アクションプラン 2016-2020」（※）に基づき、下記の6つの分野において薬剤耐性対策に取り組んでいくこととしています。



<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000179184.html>
機動戦士ガンダム ©創通・サンライズ

分野	目標
普及啓発・教育	国民の薬剤耐性に関する知識や理解を深め、専門職等への教育・研修を推進
動向調査・監視	薬剤耐性及び抗微生物剤の使用量を継続的に監視し、薬剤耐性の変化や拡大の予兆を適確に把握
感染予防・管理	適切な感染予防・管理の実践により、薬剤耐性微生物の拡大を阻止
抗微生物剤の適正使用	医療、畜水産等の分野における抗微生物剤の適正な使用を推進
研究開発・創薬	薬剤耐性の研究や、薬剤耐性微生物に対する予防・診断・治療手段を確保するための研究開発を推進
国際協力	国際的視野で多分野と協働し、薬剤耐性対策を推進

感染管理認定看護師 薮内晃子



各分野電話番号

カフェセミナー 今年も開催！

今年は8月から開催します。
アンケートの結果から、時間帯をお昼のランチョン形式にしたいと考えています。

みなさま奮ってご参加ください！



救急看護:村上 8863
慢性心不全看護:原谷 8154
感染管理:薮内 8623
皮膚排泄:大西 8397
認知症看護:藤原 8667
集中ケア:堀内 8676または
HCU1301